



いなみ町議会だより



(上)平成生まれの初めての成人式、「夢よ大空高く舞い上がれ！」 (下)議会を代表して議長からお祝いの言葉

● 議案審議14件が可決…………… P2~P3

12月定例議会

- 一般質問(8議員)…………… P4~P11
- 委員会活動報告…………… P12~P13
- グループ紹介・あとがき…………… P14



平成二十二年十二月定例会議案審議

平成21年第4回印南町議会定例会は12月10日開会し、21日閉会しました。今回の定例会の上程案件は、人権擁護委員推薦1件、条例関係2件、組合の解散4件、規約の変更2件、財産貸付1件、21年度補正予算4件（一般、特別3件）、の計14件が提案され、慎重審議の上、すべて可決しました。さらに、議員発議による意見書1件の提出を可決しました。

平成21年度補正予算審議

一般会計 **7,489万2千円**を追加
総額 **47億7,300万8千円**
3特別会計**2,800万7千円**を追加

一般会計

歳入で主な増額は、国庫支出金で2,459万6千円、基金繰入金で2,517万9千円、町債1,220万円です。

歳出で主な増額は総務費で3,718万4千円、災害復旧費3,044万2千円、農林水産業費で651万8千円です。

人権擁護委員に石橋理代氏

人権擁護委員について、推薦があり、議会はこれに同意しました。

◎印南町印南六〇一―
石橋理代（再任）

任期は3年となっております。

各議案に対する質問と答弁

印南町手数料徴収条例が制定されました。

◎平成22年4月1日から今まで、県の仕事とされていた事務手続き等が印南町に委譲されることになりました。それに伴う事務作業の見直し、手数料を新たに規定するために条例（町の決まり）を制定する議案。

Q 榎本議員

県から委譲される任務は

どの様な分野で何種類ぐらい増えますか。

A 総務課長

土地に関する分野や高齢者や障害者の移動等とスムーズに行なう法律など、全部で25事業です。

Q 榎本議員

今回の対応で印南町の従来の様々な手数料について、値上げはありませんか。

A 総務課長

基本的に値上げはありません。

印南町条例の一部が改正されました。

◎平成22年4月1日から町民税と固定資産税（土地にかかる税金）の納期を現在の3期から4期に増やす為に条例の一部を改正する議案。

Q 榎本議員

町民税の滞納額を減らし、固定資産税の収納率を引き上げることが目的ですか。

A 税務課長

その様な面もありますが、納税者の1期当たりの負担が大きくなっており、利便性を図って行くことが大きな目的です。

Q 榎本議員

国民健康保険税も納期を増やしていますが、どの様な成果が上がっていますか。

A 税務課長

間接的に、税の徴収率にも影響していると考えます。

普通財産（町が所有する土地）の無償貸し付けが賛成10、反対1で可決されました。

◎印南町山口の8580㎡（約8反）の町の土地を認

定子ども園の用地として、社会福祉法人「しようぶ保育園」の理事長木村正直氏に、30年間無償で貸し付ける議案。

Q 榎本議員

町の「財産の交換・譲与・

無償貸付に関する条例」の、第4条の中に条件項目があるが、今回はこの項目にそって町有地の無償貸付けとなったのですか。

A 総務課長

今回は、議員が指摘した条例については議会の議決は必要ありません。

Q 榎本議員

土地貸付け期限が平成22年4月1日から30年間となつていますが、その理由は何ですか。

A 総務課長

借地借家法に基づき30年間としています。

一般会計補正予算

Q 榎本議員

保育料の減額が340万余りありますが、減額の理由は。

A 教育課長

前年度の実績で、予算を立てており、概ね決算額の予想が付きましたので減額するものです。

Q 榎本議員

地籍調査費、県負担金7

50万、歳出1千万の予算の減額となっている理由はありますか。

A 地籍調査推進室長

地籍調査費の委託料の請負差額による1千万円の減額、それに伴います750万の減額です。

Q 榎本議員

総務費県補助金、緊急雇用創出事業という事で歳入36万、歳出48万の具体的な内容をお聞かせいただきたい。

A 総務課長

今回電算システム化を図るための予備データを入力する臨時雇用です。

Q 榎本議員

農林水産業補助金という事で、備長炭原木資源等育成支援事業費として20万円計上されています。この事業の具体的な内容はありますか。

A 産業課長

これは県の事業でありまして、今回、窯の修繕することで県費として3分の1ですが上限が20万円と決められています。この20万円

です。

Q 榎本議員

町営住宅に対する火災警報器の設置費用として150万円の計上ですが、1階と2階に設置する予算ですか。

A 建設課長

平屋建ては1ヶ所、2階建ては2ヶ所に設置します。

Q 榎本議員

道路・橋梁災害復旧工事として、532万4千円計上されていますが、特に橋梁関係で災害とか、地震の關係で調査しなければならぬ様な橋梁関係は何箇所くらいありますか。

A 建設課長

橋長が15m以上の57箇所については、耐震調査を今のところする予定はございませんが、将来的にはするつもりです。

Q 堀口議員

清掃費、委託料の392万3千円の減額の理由は。

A 住民課長

ゴミ収集委託料の減額に

については、全面民間委託で6月に入札致しました。その入札差額により減額となりました。

Q 堀口議員

消防費、出動手当について488万4千円の内容はどのようなものですか。

A 総務課長

出動回数10回、延べ団員数684団員にかかった手当てです。

Q 堀口議員

平成21年度漁港施設災害復旧費の事業内容はどのようなになりますか。

A 建設課長

漁港施設の災害復旧費につきましては、印南川の河口と漁港施設がダブル管理となっており、今回35mの護岸を復旧するものです。

平成21年度美浜町、日高町、由良町及び印南町指導主事

共同設置事業手区別補正予算を可決(全会一致)

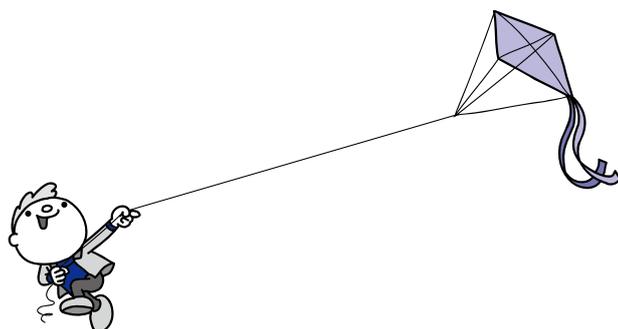
Q 榎本議員

歳出の中で、備品購入費として160万円が支出されていますが、具体的に説

明を求めます。

A 教育課長

この予算は、平成20年度で購入した分と、今後追加購入するノートパソコン、プロジェクター、デジカメ等の購入予定です。





日裏 勝己 議員

施設の建設は まったく考えていない

真妻地区へ体育館に代わる施設の建設について

質問 平成17年、国道425号の改良に伴い、旧真妻中学校体育館が立ち退きとなりました。

平成15年、真妻地区住民7百余名の署名を添えて施設建設の陳情書が出されています。

国道の改良工事もある程度形が見えてきた中、それに変わる地区住民の文化活動や生涯学習の拠点又災害時の避難場所として活用できる施設の建設をお願いしたい。

答弁 教育課長

社会体育施設としての体育館の建設は、利用頻度等からも建設はきわめて厳しいと思われる。

再質問 当時、陳情書の内容からは体育館が立ち退くという意味からして、体育館の現状復旧であったと思います。

体育館の建設が困難であるならば、真妻地区には現在公共の集会施設のない中、防災施設・コミュニティー施設等を含め施設の建設を考えてもいけないのか。

答弁 町長

体育館の建設は費用対効

果を考えたときには、まず無理だろう。防災センターは今後自主防災組織に重きを置く。そうなればそれぞれの地域に避難所を置くこととなるだろう。

コミュニティー施設は作る事の意味を考えたとき、施設ありきで活性化という事にはいささか疑問を持つ。今施設を建設するということは、まったく考えていない。

学校跡地の活用について

質問 廃校となった上洞・真妻小学校跡地の活用をお伺いします。

答弁 教育課長

元上洞小学校は、年明け後取り壊して区民の憩いの場として活用していきたい。元真妻小学校は、耐用年数を超えており、耐震強度のない施設であるため、地域の振興・活性化に何が必要なのかを考えながら安全管理等をおこなうが柔軟な対応を考えていく。

切目川ダム・下流域・国道425号の整備について

質問 政権交代により公共工事に対する削減が叫ばれている中、切目川関連については、事業促進に影響しないのか。

答弁 建設課長

ダム建設は、国のほうでまだきつちりと態度が決定されていないが、知事は切目川のダムの必要性を十分理解しているので大変心強く感じている。

河川改修に

ついては、事業仕分けの結果予算の見直しが行われることとなっているので、現在まったく予測がつかない状態である。国道425号や関連する道路の改良は、2割以上の削減もあるので促進には影響を及ぼすこととなる。

再質問 今後事業がストップしてしまう様なことが起きた場合、なりふりかまわず事業推進に奔走していただけるのか。

答弁 町長

いずれの事業も国の事業である為、決定された場合どこまで出来るかわからないが事業推進に対する決意は変わらない。



ダム関連で整備される国道425号



井上 孝夫 議員

「生活の足」確保と 「認定こども園」開園に向けて

試験運行状況と今後の計画

質問 車社会は今、高齢化と社会情勢の変化に伴い、移動手段をもたない交通弱者と呼ばれる方々が、益々増加していく状況にあります。地域住民の利便性向上を目的とする、障害者を含む交通弱者と呼ばれる方々の公共施設・医療機関・買い物等の移動交通手段の確保が重要な課題と考えます。

現在行われている試験運行で横川く切目間の上下3便の運行利用状況だけで、町全域の「生活の足」確保の要か不要かを判断することに問題は無いのか、また今後の計画をお伺いします。

答弁II企画政策課長

スクールバスを利用した場合についての、メリットまたデメリットや利用状況を調査するものであって、この結果によって町内全域の住民のニーズが全て把握出来るものとは考えておりません。

再質問 現在、試験運行中の利用者の状況は。

答弁II企画政策課長

10月については往路であ

ります横川く切目駅に乗車された方は1ヶ月で34名、復路については25名となっており、11月は往路30名、復路が19名です。

再々質問 試験運行中の、利用者数の多いか少ないかで利用状況の判断をするのか？

答弁II町長

中山間地の交通弱者の方の解消を何とか出来ないかと言ったのが私の公約の出発点であり、人数が多いか少ないかが、主たる判断の原因には成らない。

質問 アンケート調査・需要調査・地域調査などでプロセスを考えて、今後の印南町でのデマンド方式（予約制）の考えは？

答弁II企画政策課長

第5次印南町長期総合計画のアンケート調査の中においても、公共交通機関の利便性についての満足度と重要性の設問を設けております。

当町においては、デマンドバス運行が良いのか定期路線運行が良いのか、また双方の組み合わせが良いのか綿密な検討を重ねたいと考えております。

「認定こども園」開園の説明会について

質問 民設民営での開園に向けて、法人の保育方針、教育保育プログラム、保護者や地域との連携のあり方、安全管理上の留意事項を含めて、保護者及び関係各位・法人・町の3者による場を設置して、説明時間が何より大切では無いでしょうか。

今後の園児の保護者や未就学児保護者を対象として説明会の計画をお聞きいたします。

答弁II教育課長

年明け頃から今現在の利用園5園、そして要望があれば真妻保育園区を中心に、0歳児から育児をされている方々も含めて説明会を予定しております。

また「印南町認定こども園開園準備委員会」を立ち上げ、ご意見等頂きながら、ベストな開園を迎えたいと

考えております。

再質問 開園準備委員会とは、どういった方々で委員構成され、また委員は何名位の予定でしょうか。

答弁II教育課長

総務文教委員長を含め町内の子育てをしている団体の関係者等で、人数は20名程度と考えています。



「認定こども園」予定地（かえるの里北側）



村上 誠八 議員

町の活性化は水にあり!

～水を大切に有効利用～

◎切目川ダム、河川改修工事事業については日裏議員の質問と重なりましたので取り下げます。

但し、切目川下流域の水害、濁水、飲料、河口より上流2km濁水期の地下水への塩対策等々、住民が安心して生活できる環境づくりに真妻地区住民が、大きな犠牲と協力によって下流域住民の安全が構築されることを願うので、事業で、自然環境に充分配慮して頂き完工して頂きたく願います。

簡易水道事業について

質問 簡易水道事業の切目川及び印南川流域の基本料金が統一されました。基本料金の統一は、事業管理の統一と同じと考えます。

今後、水道管理事業の健全化を進めることに料金の統一にご理解とご協力を願いたいとの報告がありましたのでお伺いします。

事業進行中の印南原、切山合併水道事業を除く、老朽化が進み改善工事を必要と考えられる地域、配管距離は推定どのくらいあるのか、布設替え工事は事業特

別会計の中で部分的に実施されているが、計画的に改善事業として取り組む考えは無いのか。

答弁 Ⅱ 上下水道課長

布設替え工事を実施しなければならぬ地区は特定できていないが、布設25年を経過している地区は、印南・稲原・横川・羽六の各一部及び元村を除く西ノ地・島田、延べ4万9千400mです。

改善計画として22年度以降、水道事業10ヶ年実施計画を作成中であり、水道管更新事業に付いては国庫補

助金生活基盤近代化事業で取り組む計画を立てています。

質問 ダム完成後、印南原・切山合併浄水場に古井より補給給水がされ、水源確保は安定するが下流域の濁水対策に付いては充分検討され決定されたのか。

印南浄水場については、印南川の水及び多目的水利の補給を受けて(年間約2千5百万円)いくのか、印南川上流に調整池を設けたり古井の切目川余除水があれば活用する考えは無いのか。

切目川ダムが完成すれば、古井流水で日量千トンの水量が限度と決まっている。そのうち7百トンが印南原へ給水、残り3百トンについては印南町簡易水道総合計画により町水道一本化創設後印南原より印南一部地域に供給する予定です。

答弁 Ⅱ 上下水道課長

現状の水源確保に付いては、今まで通り印南川と多目的用水の供給を受けて給

安全・安心な水道水を供給する、集配施設

現在古井地区より下流域供給を実施、すでに一本化が出来ていると判断し、ダム貯水を利用した供給方法は考えていない。

答弁 Ⅱ 上下水道課長

現在古井地区より下流域供給を実施、すでに一本化が出来ていると判断し、ダム貯水を利用した供給方法は考えていない。

水致します。尚、調整池として尻かけ池水利組合の協力を頂いているので、新たに作る計画はありません。

古井の水源確保により下流域の濁水対応については、県はダム計画の際、切目川河口から川又迄の全ての井戸、ポンプ場灌漑施設45ヶ所を調査灌漑面積、水田耕作期の治水水量の規模等々、貯水量を計量し、10年に一度は起こる濁水に対し適応できる取水量を、日量千トン確保出来るかと判断、千トンを超えると下流域に影響を及ぼすことが、発生する可能性があるため限度とします。

質問 ダム貯水を利用した町内供給の一本化構想を考えているか。下流域の消費水量灌漑及び濁水対応も充分考慮しなければいけないか参考のため伺います。



安全・安心な水道水を供給する、集配施設



玉置 克彦 議員

災害に強い町づくりを問う!

～来るであろう巨大地震に備えて～

質問 地震津波に対する対策について、地震津波発生時の避難設備等を含め現在と今後の対策についてお伺いします。

答弁 総務課長

現在、印南浜地区へ津波避難タワーを建設中である。今後も地震津波の避難については、地域の地形又は建築物等を最大限活用した自主的避難を基本に考えております。

今後の避難施設については、避難困難地域を対象に対応を検討する必要がある。

再質問 防火水槽や避難タワーにしても地元が用地提供等が出来なければ前に進まない現状です。厳しい状況の中で重要な地域について、町で買い上げたり出来ないのか。

答弁 総務課長

現在、町内では島田・浜地区が県の津波避難困難地域として指定されている。行政が整備する避難タワーについては、地域の理解が必要であるという事です。

質問 本庁舎の地震津波対策

はどの様に考えているのか。

答弁 総務課長

本庁舎自体、耐震補強の必要性がある。

大規模災害に備えて庁舎機能の分散耐震補強等について検討中、この結果を踏まえて計画的に対応していきたい。

再質問 本庁舎自体耐震補強が必要である中、3つの選択があると思います。補強するか、一部の機能を残して移転するか、新庁舎を建設するか。

いずれにしても、巨大地震が近づいている事は確かです。早急に計画を考えてもらいたい。

答弁 総務課長

新庁舎か耐震補強かを複合した中で検討し、絞り込んでいく所です。

質問 消防団・婦人防火クラブ・自主防災組織の関係についてお伺いします。

答弁 総務課長

消防団につきましては法で定められている町の組織

であり、婦人防火クラブ、自主防災組織については、地域で防災・消火を目的に災害発生時に最大の効果を想定し、地域が自主的に組織する団体と考えております。

行政として、その必要性は十分認識している所で、組織の活動に対して積極的に支援したいと考えております。

再質問 現在、積極的に押し進めている自主防災組織について、来年度も予算を持ってやるのか。

答弁 総務課長

自主防災組織への支援についても、来年度も町単独でも実施し行く。

国道42号線と町道為線との交差点の安全対策と歩道設備について

質問 国道42号と町道為線との交差点について追突による交通事故が多発しており大変危険な交差点です。特に国道での追突事故が多く「ヒヤッ」とすることも度々あります。また、以前から地元より

要望しているコンビニ前から元村までの約500mの国道の歩道設備について、進捗状況等、お伺いします。

答弁 建設課長

右折だまりの設置については、国道事務所へも要望しているが地権者の方々のご理解も必要となりますので、ご協力をお願いしたいと思っております。

次に国道への歩道設備について現在、国道事務所で歩道整備に向けての、測量設計業務を実施していると聞いているので、来年度以降にも設備工事が実施されるものだと思います。

歩道と右折だまりの設備について、現在両方併せて計画している。



早期改善が望まれる交差点



榎本 一平 議員

まだ理解を得られていない保育所・幼稚園の統合・民営化計画は一旦ストップして住民ともっと議論を!

質問 民営化計画が明らかになってから、住民にまとまった説明会が開かれていません。もっと丁寧な対応が必要ではないですか。

答弁 教育長

今議会に提案している「しょうぶ園」に対し、土地を無償貸付け」をする議案が可決され、本契約後、年明けに説明会を開きます。

再質問 平成23年4月の開園に係る保護者としょうぶ園との話し合い、協議が必要ではないですか。

答弁 教育長

町と園の取り決めを決定していく中で、不確定要素が多ければ混乱を招くので、説明会を控えてきました。唯一の施設になるので町民に喜んでもらえるようにしたいと考えています。

質問 しょうぶ園は民間の法人ですが、町から撤退する事態になればどの様な対応をするのですか。

答弁 教育長

信頼できる法人と確信している。撤退などということがないように、法人と連

携を図ります。もし、撤退という事態になれば町が責任を持つて対応する。

質問 現場の職員の身分は具体的にどの様になりますか。

答弁 町長

保護士、保育士である以前に町職員である。今まで働いてきた経緯も踏まえ本人の意向を聞き、適材適所を念頭に、職員配置をすることになります。具体的にごに誰を配置するかは決めていません。

民主党政権のもとで行われた行政刷新会議「事業仕分け」で印南町はどの様な影響を受けるか

質問 民主党政権のもと「事業仕分け」作業が行われ11月27日に終了した。この作業は削減してはいけない分野を縮減するなどして、関係者から抗議の声も上がっています。また、本当にムダなアメリカ軍への思いやり予算や国民の税金を政党が、山分けする政党助成金などにメスが入っていませんか。

今回の「事業仕分け」作業で印南町はどの様な影響を受けますか。

答弁 総務課長

直接、行政に影響を及ぼす法的根拠がなく、なんら公式に明らかにされていないため、当町への影響などは現時点では言えません。

再質問 当町も地デジ対策を進めているが、「事業仕分け」では共聴施設への補助などの事業は、国がやるべき事でない」として「予算縮減」と判断しました。この影響はありませんか。

答弁 総務課長

「事業仕分け」の意見が国の予算等に影響した場合は、共聴組合に対する助成等への影響は出てくると考えられる。

国民健康保険税の一部負担金減免制度の実施について

質問 国保税を滞納する世帯は病院にかかれば、窓口で支払う3割の医療費も大きな負担になっているのではないか。

当町では病院の窓口で、

国保加入者が窓口で医療費を支払えない(未収金)問題は発生していませんか。

答弁 税務課長

少数の被保険者が一部の病院で支払いが遅れ分割払いで対応しているケースはあるが、その事により適切な医療が受けられないという問題は発生していない。

再質問 窓口で負担が重く、医療費が払えず医療を受けられない国保加入者の対策が必要です。国民健康保険法第44条には「医療費の一部負担(3割負担)を猶予または減免できる」と示されています。当町ではこの第44条に示されている内容の制度は設けられていますか。また、制度があれば活用されたことはありますか。

答弁 税務課長

この制度は国でモデル事業が行なわれ、平成22年度中に運用基準が示されます。当町も示される基準に基づき対応していきます。

医療費の減免制度として「生活が著しく困難で町長が必要と認められた者に対して医療費を支給する」特別医療制度があります。



藤薮 利広 議員

これからの町づくりに 子どもは宝! 交流活性化イベントは大切!

訪問型家庭教育相談について

質問 どういった組織体系になっているか。

答弁 教育課長

家庭教育推進協議会という、社会教育委員会15名、社会教育支援チームの中に有識者、元幼稚園教員2名、元保育士4名、幼児教育担当者・学校教育担当者の9名で組織している。

質問 この事業にかかわる方たちの認定基準は。

答弁 教育課長

特には無い。ただ子供が好きで企画立案運営等に理解と熱意のある方が適任である。

質問 事務局を公民館に置いているその理由は。

答弁 教育課長

担当が生涯学習の係りである為、連絡打ち合わせ等に一番合理的であるから。

放課後子ども教室について

質問 事業内容についてお

伺います。

答弁 教育課長

国において平成19年放課後子どもプランに基づく放課後子ども教室推進事業が作られ、すべての子ども達が、こころ健やかに育まれる環境づくりを推進するため、子ども達の安全・安心な居場所作りを整備し、勉強や文化活動をする。

また、同事業は、少子化対策として極めて大切に放課後健全育成対策として、家庭の経済力等に関わらず学ぶ意欲のある子ども達に学習の機会の充実を図る取り組みである。

質問 予算上での学習アドバイザーは、どういった業務をするのか。

答弁 教育課長

宿題や復習のフォローをします。

質問 安全管理員の業務内容と謝金、費用弁償はどいった事か。

答弁 教育課長

地域の方々の参画を得て安全・安心な居場所に関わり、スポーツ、図画工作、

本読み等で、子ども達と一緒に遊んでもらっている。1年生から6年生まで一

緒の教室で勉強や遊んだりしている為、喧嘩などの見張り等もして頂いていることへの謝金と考えている。

費用弁償とは、ガソリン代等です。

質問 それぞれの業務について、どういった公募をされているか。

答弁 教育課長

今年度で3年目、初年度は学校や地域で適任者がいないか等聞き、引き受けて頂いた。2年目は其のまま続けている。本年度は欠員となった所を、全戸配布によるチラシで公募、5名が公募し1名を選考しました。

質問 20年度の利用実態と実績及びその成果は。

答弁 教育課長

4小学校で年間228日開催。参加人数は4929人。

印南かえるフェスティバルについて

質問 今後の展開について、どう考えるか。

答弁 産業課長

今後も続けていく。ただ国の事業であるため、事業仕分けにより廃止もあり得る。今後この事業の動向によって、予算の措置も考える。

質問 今回のイベントの反省点と課題は。

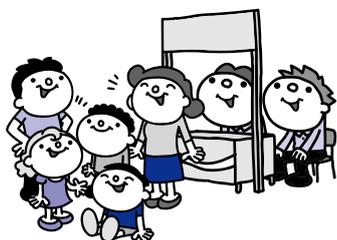
答弁 産業課長

最初のイベントとしては出来良かった。

質問 今回のイベントを継続して行くのか。

答弁 町長

町単独費でも続けていく。



「定期借地権制度」とは

～消防団の処遇と今後の
自主防災のあり方について～



岡本 庄三 議員

質問 宇杉ヶ丘団地の「定期借地権制度」は、どのような制度なのか。

答弁 建設課長

住宅用途として契約1年以内に建築に着手することを条件に、51年間賃貸可能。年額賃貸料は分譲価格の1.5%で、最初に分譲価格の10%程度の保証金が必要。月払いも可能で、最も安い区画では月々9千3百円から賃貸でき、初期費用を大幅に抑えることが出来る。



「定期借地制度」で賃貸が開始された宇杉ヶ丘団地

「定期借地制度」で賃貸が開始された宇杉ヶ丘団地
（由良町1万2千894円、日高町2万4千93円、美浜町2万6千69円、日高川町1万9千215円、みなべ町1万7千163円）に役職手当が加算されます。

また分譲価格の1.4%となる固定資産税が不要なため、数年経過後に土地を購入しても最初に購入するのと同じ金額に差がないメリットもある。
51年の契約期間終了後も再び契約し直すことも出来る。

質問 消防団の処遇は。

答弁 総務課長

平成19年度では非常、訓練、点検、年末特別警戒、ポンプ操法、分団訓練、ポンプ放水大会、防火デー、夜警、訓練初め式、分団活動費、互助会補助、研修費、家族慰安旅行、検診助成等総額を、一人当たりの平均支給額にすると、11万3千765円（由良町1万2千894円、日高町2万4千93円、美浜町2万6千69円、日高川町1万9千215円、みなべ町1万7千163円）に役職手当が加算されます。

- ① 現在は常備消防を広域で行っている中で、今ままで印南町だけが見直しをやってこなかったこと。
 - ② その結果、他町とかなり待遇に差が出来てきたこと。
 - ③ 手当て等の支出（公金）に対して不適切な支出が見られ、これらを改善する必要が有ること。
 - ④ 消防機材等の新規購入など機材の充実（買い替え）を図る必要があること。
 - ⑤ 国から町に、消防行政に割り当てられる経費を常に超える運営を現在も強いられていることをご理解、お許しを頂きたい。
- しかし、そんな中で健康診断に対する支出、火災出動は、3千円を6千円に増額（消火活動を伴わない場合は3千円）飲食を伴わない研修に対する支出、常に日高郡内に於いて待遇は一番である。

たい。
質問 自主防災組織等の今後の取り組みについて。

答弁 総務課長

現在5箇所設置しているが、今年度全町で自主防災補助金制度を設けたところである。
初期設置費用の助成をする。

再質問 ランニングコストとリーダー（防災士）の育成は。

答弁 総務課長

2年目以降も活動支援というかたちで継続した活動を行政も一体となって支援する。地域自主防災組織の必要性に応じた、防災士の育成といった間接的な自主防災への助成というものについては、一度検討したい。





廣野 英幸 議員

急げ印南町下水処理整備

～河川、海域、飲料水、生活用水の水質保全のための早急な対策を～

水道料金の一本化で、今後の水道事業整備に期待

質問 近年の文化的な生活環境の向上により、水の需要が増大する中、当町に於いて、平成19年に水道普及率100%になり、平成21年10月より水道料金的一本化がはかられ、今後の水道事業の整備に大きな期待をしております。

そこで、次の3点についてお伺いします。

① 水道管の耐用年数又耐震性は。

② 切目川ダム完成後の印南原印南水道の原水確保計画は。

③ 切山簡易水道の水質（にごり）対策は。

答弁 上下水道課長

① 耐用年数は25年以上経過している水道管が42%ありますが10年計画で敷設替えして行きたい。また、耐震管を使用する。

② ダム建設計画の中に、日量千トンと決まっておりますが、印南原水道に7百トン、印南町水道一本化に成った時に印南原水道から3百トン印南水道へ行く、印南水道については



完成した宮ノ前・古屋農業集落排水浄化施設

下水道処理の今後の対策は？

質問 下水道処理施設の整備は、河川海域の水質保全、トイレの水洗化等の生活改善や公衆衛生の向上に重要であるが、印南町における設置はなかなか進まない。

③ ダム完成後の印南原水道からの供給になるため、それまでは、水質管理に務めて行きたい。

印南川又多目的用水を使用する。

① 現在の設置率は。② 平成20年2月に汚水処理事業変更が行われました。今後の事業計画と計画目標年度は。

③ 汚水処理事業を早期整備に向けて思い切った補助金対策等、推進して行く必要があると思いが。

答弁 上下水道課長

① 汚水処理人口普及率は33.8%。

② 印南、切目は公共下水道事業で面的合併処理整備事業は32地区で、計画目標年度は立てていないが、早期に完備できる様に努力して行きたい。

③ 面的整備については、町独自の補助を取り入れていく。

推進については、区長会又広報、チラシ等全戸に配布して行く。要望があれば説明に行きたい。

地縁団体不動産登記について

質問 現在、自治会（区）等の団体に保有している不動産の登記は、代表者、役員の名義により登記が行われています。

しかし、個人名義、共有名義については、相続財産上のトラブルが生じる事から、地縁団体不動産登記の方法を取り入れて頂けないか。

答弁

総務課長

平成3年に地方自治法が改正され、これまで任意団体であった自治会（区）等が市町村長の認可を得て、法律上権利能力を有する法人として認める。

認可にあたる要件については、地域的な共同活動を行うこと、又区域の明確化、区域の住民が構成員と成ることが出来る条件。

認可窓口については、検討して行きたい。

「委員会活動報告」



総務文教常任委員会

町内幼児5園を視察し、お話を伺いました。

① 幼保一元化について

園児も減ってきたし、建物も老朽化してますし、施設を新しくして、それに少人数で居るよりも、切磋琢磨して育っていくのが良いと思います。

② 民設民営について

急だったので、説明がほしいという声は聞きます。ただ、反対ではないということも言っています。

③ 職員のこれからについて

今迄も保育園から本庁に異動された職員もいますので、受け入れなければなりません。

④ 教委に聞きました。

公募した後、2つの法人が辞退した理由は、

1つは、最初から直ぐ降りました。2つ目は、印南町の将来、子どもの増える要素がないので経営不安で

す。

●地上デジタル放送について

地域別の対応を聞きました。

☆個別受信は、切目、羽六の一部と上角から下、津井、促進の周辺、西埋立地他です。切目中継局は、21年末に改修が終わり試験電波が発信される予定ですよ。

☆NHK共聴は、美里・羽六・櫻川と真妻全域。これらは、NHKが改修をします。改修済が櫻川・松原丹生・上洞・美里です。羽六・西神川・川又は、来年度中の見込みです。

☆自主共聴は、印南・滝ノ口・奈良井・柳畑・大白河・山口・明神川・室川勘田・深山です。

名杭楠本は個別受信に移行するようです。切山・南谷は、白馬から受信可能か、県が調査します。印南以外は、NHKの支援を受けることを各組合にお願いしています。e・o光テレビも町内全域を同じ料金で交渉しています。

今回の委員会では次のような質疑がありました。

Q 印南にサテライト（電波受信・送信施設）は。

A 印南は、切目サテライトの送信後検証を行い、設置も検討しています。

しょうぶ保育園の視察

理事長に伺いました。

昭和49年から始まって今年で36年目に入りました。現在0歳児から5歳児まで163名の子ど達が居まして、それに応じた保育士が12名、パート5名、調理4名、主任と事務・子育て支援事業で2名です。毎朝、子どもと乾布摩擦と足腰を鍛えるということで、マラソンをしています。健康が一番、学問も大切なのでですけども、先ず基本の体力それから精神力をつけて、子どもが学問をするための基礎を作ろうと励んでいます。

教育目標として、保育園の頃はあまり詰めすぎても直ぐ忘れてしまいますので、必要なところは見極めて、学問よりもしつけやあいさつを身に付けるようにしています。

厚生常任委員会

上下水道事業について

10月29日、委員会開催。担当課より事業について説明を受け、印南浄水場と古井地区汚水処理場の現地を視察した。

●農業集落排水終末処理施設について

①山口地区施工、12年～17年、供用開始17年6月。全体総事業費8億5千3百14万3千円。処理方式、膜分離活性汚泥方式。計画処理人口760人。施設総事業費2億8千8百万円。接続状況10月現在、1555戸中139戸、接続率89.68%、使用料金1ヶ月当り、一般家庭の基本料金2千5百円と人数割り1人6百円。

②古井地区施工・供用開始17年6月。全体総事業費7億8千2百24万4千円。処理方式同じ。計画処理人口620人。施設総事業費2億4千5百万円、接続状況10月現在、138戸中106戸、接続率76.81%、使用料金は同じ。

③建設中宮ノ前・古屋地区

汚水処理場進捗状況、外回り完成。機械設備・電機設備95%。施工17年度～22年度、受益戸数76戸、処理計画人口230人、処理方式同じ。供用開始22年4月1日。



上下水道課より古井地区現地説明を聞く

●水道配管の改修工事について

町全体で25年を経過した水道管は、色々な管種で総延長5万6千782m、布設替概算事業費7億5千5百58万5千円。

今後の計画、切山簡易水道と印南原簡易水道を現在統合計画の認可申請中、23年度から着手予定。次に、切目川簡易水道（西ノ地・元村地区を除く）を順次更新。印南原簡易水道の改修

は、明神川と奈良井地区を除いた古い管から順次更新。切山簡易水道櫻川・羽六は新しいので保留。

今回の委員会では次のような質疑がありました。

Q 面的措置をとる場合の計画地区は何軒ぐらいを対象に取り組むのか。

A 区単位並びに集落単位で、概ね20戸程度。

Q 上水道について、ダムから水を稲原、印南地区へ供給して行くという計画はあるのか。

A ダムが完了した後に、稲原、印南の方へ供給する計画である。

産業建設常任委員会

閉会中の所管事務調査として①印南町で実施されている事業及び産業振興について、②鳥獣害対策についての2項目を議題とし、建設課及び産業課より説明を受け、協議・検討を行いました。主な事業内容等について報告いたします。

◎建設課（町内の主な工事）
※崎山地区農道整備工事

現在、最終段階にあり、県の検査終了後、供用を開始する予定。

※町道柳畑白河線新設改良工事（印南原地区）

事業完了は平成23年度としているが、できれば22年度で完了し、23年3月に供用開始予定。

※町道下皆瀬川線改良工事（皆瀬川地区）

工事は順調に進んでおり、22年3月末には事業を完了し、供用開始の予定。

※町道塩焼舟野線改良工事（羽六地区）

旧切目川中学校跡地の有効利用を図ることを目的に、22年3月末に完了、供用開始。

※町道古井丹生線改良工事（古井・丹生地区）

工事期間は21年～24年で、21年度は測量設計22年度より改良工事に着手の予定。

※黒潮フルーツライン建設工事（古屋・櫻川）

印南町・みなべ町の2町にまたがる事業で、22年度の完成

をめざして事業が進められている。

※切目川多目的ダム建設事業

洪水調整、流水の維持、水道水の確保を目的として13年度より進められている事業で、平成26年度の完成を目標としている。

また、ダムにより水没する区間の国道425号の付け替えが併せて施工されている。

◎産業課（主な事業）

農業振興関係の事業としては、生産調整推進対策事業（水転）、農業用廃プラ適

正処理事業（町単独）、中間地域等直接支援事業、日本一うめ産地支援事業（県単独）、防油堤推進事業（町単独）、鳥獣害対策関連事業（県・町単独で6事業）、新規農業者定着促進事業等があり、新しい事業として、ふるさと雇用再生特別基金活用事業（2事業）がある。

林業振興としては、19年度～23年度の5力年間の事業として森林整備地域活動支援交付金事業、機械化林業推進事業、新規事業として間伐推進強化対策事業、

間伐材搬出支援事業等がある。

水産業関係としては、漁業後継者対策補助金、稚貝放流実験補助金、切目川漁協補助金等がある。

商工業関係としては、商工会助成金、観光協会補助金、年に1度実施しているゴルフコンペへの補助金等がある。

産業振興の上で、特に鳥獣害については全町的な問題であり、特別委員会へ付託した。



供用開始までカウントダウンの崎山農道

Topics

平成21年11月22日、印南町役場周辺で交流活性化イベント「印南かえるのフェスティバル」が開催されました。



「しよくの祭典」が終了して4年ぶりの大型イベントに町内外から多くの参加者があり、大盛況のうちに終了しました。

議会としても、スタッフとして参加してこそ、本当の意味での町づくりに参加できるのではないかと、この発想から、初めてスタッフとして参加いたしました。

今後も、こうした町づくりイベントに積極的に参加をし、町民の方はもちろんのこと、町外の方々とも交流を図ることの大切さを改めて認識しました。

地域の歴史を継承する

(うらしま会)

ふるさととの歴史を学ぶ会



2002年7月 浜田市西村神社中糶古場にて

ふるさととの歴史を学ぶ会の紹介

現在、会員は14名、準会員多数。元村中心に、印南、切目川等の会員も居り、

結成からメンバーは変わりながらも同数の会員を維持しています。会の行事等への参加については、自由参加の形で活動しています。

昨年も県内外のお寺やお宮を訪ね、正倉院展や阿修羅展にも行き、研修を重ねています。

あゆみ

この会の発足のきっかけ

は、出雲大社の近くの雲根神社の神

主さんから、印南町山口の岡田神主さんに、島根の神楽の「鞆鼓、切目」はそこから伝わったようだが、何か資料がないですか。という問い合わせがあったのが始まりです。

切目神社の歴史はほとんど知りませんでしたので、いろいろ調べていく中で、多くのことが解ってきて、びっくりすることばかりで、すっかりはまってしまいました。

8年前、石見の神楽を初めて見せていただき、感動するとともに、遠いこの地に（島根県）800年も切目縁の神楽が生きついでいたことにびっくり。

それから2年続けての里帰り講演で町内外の皆さんに喜んでもらえたことは私もふるさととの歴史を学ぶ会にとって一番の喜びです。

解ったこと

切目神社の分社が鹿児島、島根、高知県、横浜市、

福島県、愛知県に神楽を迎える神さんとしてお奉りされている。

伏見稻荷との深いつながりもあることが解ってきました。熊野詣でのお守り、ナギの木も切目王子から始まったようです。

名杭の城山も南北時代からの貴重な歴史遺産であることが解ってきました。出土した中国の高級磁器である白磁や青磁、備前焼のかけらを公民館で展示しています。

おさそい

これからも地元の歴史を掘り起こし、町の活性化につながってほしいなと思います。皆さん一緒に勉強しませんか。会員一同お待ちしています。



勝浦 切目王子神主の末子(実翁)の墓参り

あとがき

新年あけましておめでとうございます。新しい年が町民の皆さんにとって良き年でありますようお願い申し上げます。

さて、昨年は印南町議会議員（般選挙、衆議院議員総選挙と選挙の年でもありました）印南町議会選挙では7名もの新選良が誕生。衆議院選挙では自民党から民主党への「政権交代」がありました。

新しい年の幕開けすら感じさせる昨年でしたが、地方行政はますます厳しい状況が続く、本当の明るい幕開けはいつのことかと思われ

ます。印南町議会としても、一日も早い「明るい幕開け」を願って精進する覚悟でござい

議会広報特別委員会

- 委員長 榎本 一平
- 副委員長 玉置 克彦
- 委員 日裏 勝己
- 委員 杉谷 考祥
- 委員 岡本 庄三
- 委員 藤薮 利広